

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-204	高等学校	理科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2・東書	地基701	地学基礎		

1. 編修の基本方針

本教科書は、生徒が、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実習などを中心にして学ぶことを通して、地学の基本的な概念や原理・法則を理解しつつ、地学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指して編修しました。そのため、身近な事物・現象を題材にした話題を豊富に掲載し、生徒の興味・関心を高めることに意を用いました。また、科学的に探究しようとする態度を養えるように、本文中に適切な課題、観察、実習、気づきを生む問いかけなどを配置しました。

本教科書は、近年の高校生の学力の傾向や学習指導の実態を考慮しつつ、教育基本法に示された教育の目標を達成し、上記の資質・能力が身につくよう、下記の基本方針に基づいて編修しました。

- (1) 学習した項目を互いに結びつけ、地学基礎の全体像が見通せるように配慮し、理科の見方・考え方を養い、科学に対する興味、関心を高め、生徒自らが課題意識と見通しをもって問題解決的に学習ができるように内容を配列する。
- (2) 主体的・対話的な学習活動、観察、実習を通して、生徒自らが科学的な概念を習得し、知識を深めたり、系統化したりできるように配慮する。
- (3) 地学と日常生活や社会との関連にかかわる記述を充実させ、生徒の思考や興味・関心が、学習内容の理解にとどまらずに、学習内容と日常生活や社会とのかかわり、地学の有用性を実感できるようにする。
- (4) 私たちの生活を取り巻く諸課題に対する、科学的な思考力・判断力を養うとともに、主体的・協働的に行動する、持続可能な社会づくりの担い手を育むようにする。
- (5) 中学校との接続を意識して、生徒が読みやすく、理解しやすい簡潔な本文記述にする。また、資料性の高い豊富な写真やイラストを多用し、生徒が楽しく無理なく基礎学力が身につくようにする。
- (6) 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きるために必要な力を生徒自らが身につけ、生命を尊重し自然や環境の保全、社会の形成・発展に寄与できるようにする。また、近年の地球環境の変動に対する人間の諸活動の影響について、国際社会の協働による解決を考えさせるようにする。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>1 編 私たちの大地</p> <p>■ 1 章 大地とその動き ■ 2 章 火山活動と地震</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、過去から現在まで続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 日常生活との関わり、防災に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>前見返し①-5 [1章]14-19, 21, 25 ページなど [2章]37, 45 ページなど</p> <p>前見返し①-④ [1章]19, 21 ページなど [2章]34, 36-37, 45 ページなど</p> <p>前見返し⑤-5 [1章]15, 18, 20, 24-25 ページなど [2章]32, 34, 38, 42 ページなど</p> <p>12-13 ページ [2章]37, 42-45 ページなど</p> <p>[1章]19, 21 ページなど [2章]36-37 ページなど 後見返し②-③</p>
<p>2 編 私たちの空と海</p> <p>■ 1 章 地球の熱収支 ■ 2 章 大気と海水の運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 日常生活や社会と関わる研究の例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 日常生活に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 地球環境の変動を国際的な視点でとらえ、国際的な協力を通じた解決を考えさせるようにしました。(第5号)。 	<p>[1章]54-55, 59 ページなど [2章]60-61, 68 ページなど</p> <p>[1章]56-59 ページなど [2章]60-64 ページなど</p> <p>[1章]52-55, 56, 58 ページなど [2章]60-62, 64, 68, 70 ページなど</p> <p>50-51 ページ [1章]53, 56-57, 59 ページなど [2章]62-65, 70 ページなど</p> <p>[1章]52-55, 58-59 ページなど [2章]60-65, 69-71 ページなど</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>3 編 私たちの 宇宙の誕生</p> <p>■ 1 章 宇宙の構造 と進化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 主体的な学習活動を通して、科学の方法を習得させるとともに、学習活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 日常生活に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>前見返し①-④ [1章]76, 78, 85, 86, 88-89, 92-93 ページなど</p> <p>[1章]76, 88-90 ページなど</p> <p>[1章]76, 84, 86, 91-93 ページなど</p> <p>74-75 ページ [1章]77, 86, 92-93</p> <p>[1章]84, 88-89, 93 ページなど</p>
<p>4 編 私たちの地球の 歴史</p> <p>■ 1 章 地層と化石 の観察</p> <p>■ 2 章 古生物の 変遷と地球環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 探究的な学習活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>前見返し①-④ [1章]98, 102-105 ページなど [2章]106-107, 108, 113, 118-119, 122-125 ページなど</p> <p>[1章]98, 56 ページなど [2章]61, 62, 67, 69, 74, 75, 76, 77 ページなど</p> <p>[1章]98, 100, 102-103 ページなど [2章]106, 109, 110, 112, 115, 121, 122-123 ページなど</p> <p>96-97 ページ [1章]98-101 ページなど [2章]122-124 ページなど</p> <p>[1章]98-100, 105 ページなど [2章]108, 117, 122-123 ページなど</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>5 編 地球に生きる 私たち</p> <p>■ 1 章 日本の自然の恵みと防災 ■ 終 1 章 地球環境の考え方 ■ 終 2 章 自然環境の変動 ■ 終 3 章 これからの地球環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 ・日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 ・探究的な学習活動、主体的な学習活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 ・地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 ・地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>前見返し①-④ [1章]131, 133, 134, 141, 142 ページなど [終1章]148, 150-151 ページなど [終2章]153, 154-155, 156-157, 158-161 ページなど [終3章]162, 165 ページなど</p> <p>[1章]131, 133, 134, 139, 141, 144 ページなど [終1章]151 ページなど [終2章]153, 154-155, 161 ページなど [終3章]164-165 ページなど</p> <p>[1章]130, 137, 140, 143 ページなど [終1章]149, 150 ページなど [終2章]153, 155, 156, 158-159 ページなど [終3章]162, 163, 166-167 ページなど</p> <p>128-129 ページ [1章]132-133, 136-147 ページなど [終1章]148, 150-151 ページなど [終2章]152-161 ページなど [終3章]1162-163 ページなど</p> <p>[1章]130-135 ページなど [終1章]150-151 ページなど [終2章]156-157, 161 ページなど [終3章]164-165 ページなど</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・中学校での学習内容とのつながりに配慮し、より学習が深められるよう、側注に「中学校とのつながり」を設けました(学校教育法第51条1号)。 →38 ページなど
- ・学習内容を基に、生活のなかでの応用、地球環境に関する課題解決について考えさせるなど、幅広い視野を養い、持続可能な社会づくりの担い手を育むように配慮しました(学校教育法第51条3号)。
→122-123, 158-159, 166-167 ページなど
- ・教科書中で使用する書体には、ユニバーサルデザイン書体を使用し、ユニバーサルデザインへの対応を図りました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-204	高等学校	理 科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2・東書	地基 701	地学基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、日常生活や社会とのかかわりを図りながら、地学が地球環境の維持に果たす役割について、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実習を行うなどの学習活動を行うことで、地学に対する興味・関心を高めながら主体的な学びを促し、探究する能力を育むことを目指して編修しました。

(1) 「地学基礎」の目標及び内容への対応

①日常生活や社会, 既習事項との関連を図りながら地学についての理解を深める

Let's Start!



②実習などを行い科学的に探究する力を養う

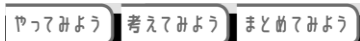
- …… けがに注意する。
- …… 薬品の取り扱いに注意する。
- …… 廃棄物や廃液処理は先生の指示に従う。

ちょこラボ 1

探 究 PLUS

- 各節の冒頭には、「Let's Start!」を設け、日常生活や社会、既習事項との関連を意識しながら学習に取り組めるようにしました。
- 学習内容の要約や、学習内容に関連する気づきについて話すキャラクターを設定しました。
- 見通しをもって学習にのぞめるように、各節に「**学習の問いかけ(?)**」、学習した項目を自分の言葉でまとめる「**節のポイントをまとめよう(!)**」を設定しました。
- 基本的な学習内容と、地学の見方・考え方を養えるわかりやすい実習を扱い、探究的に学習が進められるようにしました。
- 「実習」には、必要に応じて「**注意マーク**」を付記し、安全に実施できるように配慮しました。
- 身のまわりのものなどで、簡単にできる実習「**ちょこラボ**」を設け、科学に対する興味・関心を広げられるようにしました。
- 巻末には、教科書で学習したことに関連する内容で、探究的な過程に沿って取り組める実習を「**探究 PLUS**」として取り上げました。

③科学的に探究しようとする
態度を養う



- 「やってみよう」「考えてみよう」「まとめてみよう」を設け、学習した内容を主体的に活用する能力を養えるようにしました。

④地学に対する興味を高める



- 地学に対する興味を高めるために、プロローグを設け生徒の興味を喚起するようにしました。
- 地学の学習において、どこまでが解明されていることなのか、これから解明しなければならないことは何であるのかを常に意識させ、地学的、ひいては科学的なものの見方を身につけることができるように、最先端の研究やビジュアルな学習内容を「アースペディア」として扱いました。

図書の構成		各編の内容	該当箇所
1編 私たちの大地	1章 大地とその動き	●地球の形と大きさとその解明の歴史を交えて、地球の形が真の球ではないことを探究的に突き止めます。また、地球の層構造やマンツルの対流とプレートの動きについて、プレートの3種類の境界について学習します。	14～31 ページ
	2章 火山活動と地震	●地球上で起こっている火山活動や地震がどのような場所で起こっているのか、火山活動によって作られる岩石について学習します。	32～49 ページ
2編 空と海	1章 地球の熱収支	●地球大気が層構造となっていることを探究的に求めます。また、地球大気で起こっている現象、太陽放射と地球放射が釣り合っていることについて学習します。	52～59 ページ
	2章 大気と海水の運動	●大気や海水の運動の原因について、地球の熱収支と絡めて学習します。また、大気と海洋の運動は単独で起こるのではなく相互に作用しあっていることを学習します。	60～73 ページ
3編 宇宙の誕生	1章 宇宙の構造と進化	●ビッグバンによって宇宙が誕生し、私たちの太陽系が形成されたことを中心に学習します。太陽系を構成する惑星は、その特徴によって、地球型惑星や木星型惑星に分類されること、太陽の特徴について学習します。また、地球がハビタブルゾーンに位置し、生物が生存できる条件についても触れます。	76～95 ページ
4編 私たちの地球の歴史	1章 地層と化石の観察	●地層の堆積のしかた、堆積岩、地層からわかる情報について学習します。また、示準化石や示相化石から、その生物が生息した時代や環境がわかることを学習します。	98～105 ページ
	2章 古生物の変遷と地球環境	●地球が46億年前に誕生し、海や大気、岩石が形成された過程、生命が誕生し、大気中に酸素が放出されたこと、オゾン層が形成され生命が陸上に進出したことについて、被子植物が登場し、恐竜やアンモナイトが繁栄したこと、哺乳類が多様化し、人類が出現したことについて学習します。また、地球環境の変化が、生物の変遷に影響を与えたことについて学習します。	106～127 ページ

5編 地球に生きる私たち	1章 日本の自然の恵みと防災	●日本の自然の多様性, 自然の与える様々な恩恵について, 気象災害と防災, 地震による災害と防災, 火山による災害と防災について, 災害と人間のかかわりという視点で学習します。	130~147 ページ
	終1章 地球環境の考え方	●地球環境の考え方として, 時間・空間スケールと地球システムの考え方について学習します。	148~151 ページ
	終2章 自然環境の変動	●自然環境の変動について, 自然環境の変動には人間活動もかかわっていることについて学習します。	152~161 ページ
	終3章 これからの地球環境	●環境問題に対応するための全世界的取り組みについて, 化石エネルギーから代替エネルギーの切り替えや, これからの社会には持続可能な発展が求められることについて学習します。	162~167 ページ

(2) 内容の特色と構成

組織・配列・構成

- 地学基礎の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて, 不足なく取り上げました。
- 内容に興味・関心をもったうえで, 見通しをもって探究的な学習に取り組み, 振り返りも行えるように, 各節は「Let's Start!」「学習の問いかけ」「実習」「節のポイントをまとめよう」を軸とした構成としました。学習の問いかけに対する解答例は, 巻末に「フィードバック」として掲載しています。
- 生徒が理解を深められるように, 側注には, 「キャラクター」を配置し, 「疑問を喚起する発問」, 「学習内容を深める問いかけ」などを示し, 学習に深まりが出るようにしています。
- 地学基礎の扱う悠久の時間と広大な空間について, 学びの手助けをするための「ナビ」を随所に設けました。
- 参照マークや参照ページを用いて, 学習内容の関連を示しました。
- コラム「〇〇とのつながり」では, 学習内容の理解を深めるための興味深い話題を取り上げています。
- 各編末には, その編の学習内容を確認する「学習のまとめ」「編末確認テスト」を設けました。さらに, 巻末には「チャレンジ問題」を設けました。自学自習する際に活用しやすいように, 巻末にはすべての問題の解答を掲載しました。

表記・表現

- 平易な文章で, わかりやすく, 丁寧な記述を心がけるとともに, 正確な図表や, 美しく内容理解を助ける写真を豊富に掲載しました。
- 重要語句は太字で強調するとともに, すべてにふりがなを付しました。
- 学習指導要領に関連し, より本文を掘り下げた内容は「メモ」にまとめ, 本文と区別して扱いました。

印刷・造本上の工夫

- 製本には針金を使用せず、接着剤で製本することで、リサイクル性を重視しました。
- 用紙には**再生紙**を用い、印刷には**植物油インキ**を使用しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。
- レイアウト・図版の色づかいなど、ユニバーサルデザインに配慮して編修しました。また、見やすく読み間違えにくい、**ユニバーサルデザイン書体**を使用しました。

教科書を補完する指導書の工夫

- 授業展開例、学習目標・評価規準などがわかりやすく整理された教師用指導書を発行します。指導書付属の動画コンテンツ、ワークシート、デジタル板書などの豊富なデジタルコンテンツが、ICT教育の充実をサポートします。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
	プロローグ 科学の探究の進め方	内容(1)(2)	前見返し①～5	1
1 編 私たちの大地	編扉	内容(1)ア(ア), (イ) 内容(1)イ	12～13 ページ	6
	1章 大地とその動き	内容(1)ア(ア), (イ)㊦ 内容(1)イ	14～21, 24～29 ページ	
	2章 火山活動と地震	内容(1)ア(イ)㊦	32～45 ページ	7
	まとめ・編末確認テスト	内容(1)ア(ア)(イ)	48～49 ページ	
2 編 私たちの空と海	編扉	内容(1)ア(ウ) 内容(1)イ	50～51 ページ	5
	1章 地球の熱収支	内容(1)ア(ウ)㊦ 内容(1)イ	52～59 ページ	
	2章 大気と海水の運動	内容(1)ア(ウ)㊦ 内容(1)イ	60～65, 68～71 ページ	6
	まとめ・編末確認テスト	内容(1)ア(ウ)	72～73 ページ	
3 編 私たちの宇宙の 誕生	編扉	内容(2)ア(ア)㊦ 内容(2)イ	74～75 ページ	6
	1章 宇宙の構造と進化	内容(2)ア(ア)㊦	76～78 ページ 84～93 ページ	
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)ア(ア)㊦	94～95 ページ	

4 編 私たちの地球の 歴史	編扉	内容(2)ア(ア)㊸ 内容(2)イ	96～97 ページ	5
	1 章 地層と化石の観察	内容(2)ア(ア)㊸ 内容(2)イ	98～105 ページ	
	2 章 古生物の変遷と 地球環境	内容(2)ア(ア)㊸ 内容(2)イ	106～125 ページ	9
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)ア(ア)㊸	126～127 ページ	
5 編 地球に生きる 私たち	編扉	内容(2)ア(イ) 内容(2)イ	128～129 ページ	6
	1 章 日本の自然の恵みと 防災	内容(2)ア(イ)㊸ 内容(2)イ	130～147 ページ	
	終1章 地球環境の考え方	内容(2)ア(イ)㊸	148～151 ページ	1
	終2章 自然環境の変動	内容(2)ア(イ)㊸ 内容(2)イ	152～161 ページ	3
	終3章 これからの地球環境	内容(2)ア(イ)㊸	162～167 ページ	4
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)ア(イ)㊸	168～169 ページ	
	センターチャレンジ	内容(1), (2) 内容の取扱い(1)ア, (2)	174～178 ページ	2
	巻末資料	内容(1), (2)	170～173 ページ 179～後見返し㊸	9
			計	70

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-204	高等学校	理 科	地学基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2・東書	地基701	地学基礎		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
22	地震波からわかった地球内部の構造	1	(1)ア(ア)㊦	2
29	鉱物が示す変成作用の温度と圧力	1	(1)ア(イ)㊧	0.5
30	地質構造の規模	1	(1)ア(イ)㊧	2
36	マグマが発生するしくみ	1	(1)ア(イ)㊦	0.5
59	大気の種類別の熱収支	1	(1)ア(ウ)㊧	0.25
66	雲と降水のメカニズム	1	(1)ア(ウ)㊧	2
71	海洋の熱塩循環	1	(1)ア(ウ)㊦	0.5
76	宇宙の膨張と拡大コピー	1	(2)ア(ア)㊧	0.5
78	恒星の誕生	1	(2)ア(ア)㊧	0.5
79	銀河の誕生と現在の宇宙の形成	1	(2)ア(ア)㊧	0.75
79	銀河の成長	1	(2)ア(ア)㊧	0.5
80	過去の宇宙をさぐる	1	(2)ア(ア)㊧	2
82	宇宙での物質循環	1	(2)ア(ア)㊧	2
合 計				14

「類型」欄の分類について

- 1… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容